

# 令和 3年度予算見積調書

課室名：農業ビジネス支援課  
 担当名：販売対策・6次産業化担当  
 内線：4107 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B21	埼玉農産物輸出総合サポート事業		一般会計	農林水産業費	農業費	食品流通対策費	海外新規販路対策事業費		
事業期間	平成27年度～令和7年度	根拠法令	農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律			宣言項目	09 儲かる農業の推進	SDGsゴール	2
					分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立	SDGsターゲット	2-3	
1 事業概要			5 事業説明						
<p>新型コロナウイルス影響により、消費構造が変化し、国内需要が減少している。</p> <p>一方、世界的な日本食ブームの広がりや、アジア諸国での経済成長、人口増加により、需要増加が見込まれ海外での商機が増している。</p> <p>そこで、県産農産物の新規販路を開拓するため、輸出を志向する生産者団体等との情報提供・交換等や、輸出先国でのフェア・商談の実施、輸出のニーズに対応した段階に応じた輸出支援を行い県産農産物の輸出力の向上を図る。</p> <p>(1) 農産物輸出推進事業 2,890千円                      (2) 狭山茶輸出販路拡大事業 4,530千円                      (3) GFPグローバル産地づくり推進事業 10,000千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 農産物輸出推進事業 2,890千円                      埼玉農産物輸出促進協議会を運営し、輸出に関するセミナー、研究会による情報提供などを行い、県産農産物の輸出促進を支援する。                      併せて、海外でのプロモーションや商談会へのバイヤー招へいを実施し、県産農産物の海外販路開拓・拡大を支援する。</p> <p>イ 狭山茶輸出販路拡大事業 4,530千円                      欧州への狭山茶輸出を拡大するため、フランスにおいて狭山茶のPRや商談を通じて、継続的な販売につながる販路を確保する。</p> <p>ウ GFPグローバル産地づくり推進事業 10,000千円                      輸出相手国のニーズや規制等に対応したグローバル産地の形成を進めるため、計画策定、生産・加工体制等の取組を実施する生産者団体を支援する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 埼玉農産物輸出促進協議会の運営、農産物輸出関連情報の提供及び研修会、農産物フェア・商談会の開催</p> <p>イ フランスにおいて狭山茶のPRや商談の実施</p> <p>ウ 輸出相手国に対応した取組を実施する生産者団体等の支援 1団体</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>H29:輸出新規品目7品目 H30:輸出新規品目5品目                      R1:輸出新規品目5品目 令和3年度見込み:輸出新規品目の増加 2品目</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況                      ジェトロ埼玉、農協、マーケティング研究機関、国内外の商社等と連携し、効果的な事業実施を図る。</p> <p>(5) その他                      狭山茶魅力発信型輸出促進事業の継続を本事業の(2)狭山茶輸出販路拡大事業として組みなおした。</p>						
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) (県10/10)                      (2) (県10/10)                      (3) (国10/10) 事業者負担なし</p>									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1.5人=14,250千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金	諸収入						
決定額	17,420	10,000	1,000					6,420	793
前年額	16,627	11,434						5,193	